

令和5年度 社会福祉法人希望の家 事業報告書

(自令和5年4月1日 至令和6年3月31日)

I 法人の運営状況

1 理事会の開催

会議名・開催日	理事	監事	議題
第260回理事会 令和5年5月16日 倉吉福祉センター	出席 6 欠席 1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアパス表の一部改正 ・次期役員候補者について ・若竹の家日中活動の場所について
第261回理事会 令和5年6月2日 倉吉福祉センター	出席 7	2	<ul style="list-style-type: none"> ・理事長及び施設の業務報告 ・令和4年度事業報告、決算報告及び監査報告 ・令和5年度第1回補正予算 ・役員候補者の推薦 ・定時評議員会の招集事項 ・GH希望の家の第三者評価について ・令和4年度社会福祉充実残額について
第262回理事会 令和5年6月23日 倉吉シティホテル	出席 7	2	<ul style="list-style-type: none"> ・理事長の選定 ・評議員選任・解任委員の選任(補充) ・グループホームの新設について ・ひまわり保育園の土地、建物について
第263回理事会 令和5年12月6日 倉吉福祉センター	出席 7	1 欠席1	<ul style="list-style-type: none"> ・理事長及び施設の業務報告 ・陶芸室の解体 ・令和5年度第2回補正予算 ・個人情報保護規程の改正 ・評議員会の招集事項 ・ひまわり保育園の土地・建物について ・GH建設予定地の処分等相手方決定通知書について ・苦情解決委員会の報告
第264回理事会 令和6年3月6日 倉吉福祉センター	出席 7	2	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の業務報告 ・定款の資産の一部改正 ・育児休業等に関する規則の一部改正 ・令和6年度役員賠償責任保険について ・令和6年度職員体制 ・令和6年度予算の主な事業 ・虐待事案について

会議名・開催日	理事	監事	議題
第265回理事会 令和6年3月18日 倉吉福祉センター	出席 7	2	<ul style="list-style-type: none"> ・理事長の業務報告 ・職員の解任及び選任 ・給与規程の一部改正 ・令和5年度第3回補正予算 ・令和6年度事業計画 ・令和6年度予算 ・評議員会の招集事項

2 監査の実施

実施者	監査内容・実施日	指摘及び報告事項
法人内部監査 (希望の家監事)	・令和4年度事業及び決算 令和5年5月22日	・なし
指導監査 (鳥取県)	・従業者による障害者虐待 令和6年2月22日	

3 評議員会の開催

会議名・開催日	評議員	監事	議題
第50回（定時評議員会） 令和5年6月20日 倉吉交流プラザ	出席 8	2	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度事業報告、決算報告及び監査報告 ・令和5年度第1回補正予算 ・役員の選任 ・第三者評価について ・社会福祉充実残額について
第51回（評議員会） 令和5年12月14日 倉吉福祉センター	出席 7 欠席 1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・業務報告 ・陶芸室の解体 ・令和5年度第2回補正予算
第52回（評議員会） 令和6年3月27日 倉吉福祉センター	出席 7 欠席 1	1 欠席1	<ul style="list-style-type: none"> ・業務報告 ・定款の資産の一部改正 ・令和5年度第3回補正予算 ・令和6年度事業計画 ・令和6年度予算 ・虐待事案について

4 その他会議の開催

会議名・開催日	出席者	人数	議題
第三者委員会 令和5年10月27日 希望の家	理事長 第三者委員 職員	7	利用中の子に対する支援について保護者から苦情を受ける。申出人の要望を受け、開催する。

会議名・開催日	出席者	人数	議 題
虐待防止委員会 令和6年1月29日 希望の家	第三者委員 職員	6	G H世話人による虐待事案の報告
虐待防止委員会 令和6年2月28日 希望の家	第三者委員 職員	6	上記G H世話人による虐待事案の経過と対応について
虐待防止・身体拘束適正化 及び苦情解決委員会 令和6年3月27日 希望の家	第三者委員 職員 欠席1	5	上記G H世話人による虐待事案の経過と対応について 身体拘束適正化、苦情等の状況等の報告

II 各事業の報告

* 1～3までは別紙各事業報告書参照

- 1 障害者支援施設 希望の家（短期入所事業及び日中一時支援事業含む）
- 2 障害者支援施設 若竹の家（就労継続B・短期入所事業含む）
- 3 共同生活援助事業所 グループホーム希望の家（短期入所事業含む）

III 運営管理の状況

1 各利用率他

サービス区分	令和5年度	令和4年度
	実績	実績
施設入所支援（希望の家）	90.7%	93.6%
生活介護（〃）	84.2%	89.0%
短期入所延べ利用日数（〃）	14日（1人）	2日（1人）
日中一時延べ利用日数（〃）	3日（1人）	0
施設入所支援（若竹の家）	88.7%	91.2%
生活介護（〃）	72.1%	96.2%
短期入所延べ利用日数（〃）	153日（3人）	85日（2人）
就労継続B型（つつじ班）	75.0%	54.5%
共同生活援助（グループホーム）	98.1%	99.9%
短期入所延べ利用日数（〃）	15日（1人）	0

2 地域との関わり

項 目	内 容	回 数
実習受け入れ	・鳥取短大施設実習	1回（5月）
	・倉吉養護学校現場実習	5回（6, 10, 11月）
	・皆成学園利用体験支援事業	5回（4, 5, 11, 12, 1月）
地域との交流	・希望太鼓 出演無し	
	・第19回きぼうまつり（内部のみ）	（11月）
	・近隣神社の清掃活動	3回（10, 12, 3月）
	・明倫地区作品展出品	1回（9月）
	・はばたき作品展出品	1回（11月）
	・あいサポート関係作品出品	2回（10, 1月）
	・中部あいサポート関係作品出品	1回（12月）
・市部落解放文化祭作品出品	1回（1月）	

項目	内容	回数
ボランティアの受け入れ	・市内高校生ボランティア体験事業	1回（7月）
	・ひまわり会（舞踊）	1回（10月）
職場体験	・倉吉西中学校	1回（10月）
公益的取り組み	・市社協との連携—特別会員加入継続 / 引っ越し手伝い等(11月) ・社福法人和との連携—子ども食堂手伝い(休止)	

3 新型コロナウイルス感染症について

本年度5月に、2類から5類感染症に位置付けられ、社会も徐々にコロナ以前の状況に戻っていく中、施設においては、高齢者や基礎疾患を持つ利用者が多いことや、もし施設内に感染があれば、蔓延するリスクが高いことから、行事や外出等引き続き制限せざるを得ない状況であった。

4 防災管理

1) 各種訓練等の実施

各種訓練等	実施月・回数等
消防設備点検（施設・グループホーム）	2回（5月,10月）GH1回（5月）
消火訓練	1回（5月）
非常通報訓練	2回（9月,2月）
避難訓練（施設）	2回（5月,10月）
地震避難訓練（施設）	1回（2月）
避難訓練（グループホーム）	1回（3月）

2) グループホーム災害対応等について

災害名	月日	対応等
台風接近	8月16日	防災会議開催 避難せず様子をみた
大雨警報発令	9月6日	防災会議開催 避難せず様子をみた

5 職員研修

目標	内容
施設内研修	・施設内研修及び外部研修による職員の育成 ・重要な研修（虐待防止、感染症対策など）については、全職員に周知するため数回に分けて実施
施設外研修	・法令遵守、専門性向上、階層別、資格取得等に職員構成、配置、経験等を見ながら派遣、参加（オンラインでの受講中心）

6 各種受賞者

- | | |
|------------------|-----------------|
| ・県社協会長表彰（永年勤続功労） | 中島調理員 受賞 |
| ・県知福協表彰（永年勤続） | 田倉主任補佐、三隅支援員 受賞 |
| ・市社協会長表彰（永年勤続） | 田倉主任補佐、三隅支援員 受賞 |
| ・県手をつなぐ育成会（感謝状） | 山田輝男支援員 受領 |

IV

年間行事の実施状況（別紙参照）

指定障害者支援施設 希望の家 事業報告

令和6年3月31日

1. 所在地 倉吉市みどり町3576番地1

2. 設置主体 社会福祉法人 希望の家

3. 設立経過

昭和33年10月1日に生活保護法による「更生施設（定員30名）」として事業を開始。その後、昭和35年4月に「(旧)精神薄弱者福祉法」施行と同時に全国で2番目の「援護施設」として認可をうける。平成20年10月には創立五十周年の式典を行なう。

平成23年10月1日に「障害者自立支援法」（現在、障害者総合支援法）による新体系に移行し、障害者支援施設 希望の家となる。

4. 運営方針

- (1) 利用者に対して、その自立と社会経済活動への参加を促進する観点から、保護並びにその更生に必要な指導及び訓練を適切に行なう。
- (2) 利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立って施設障害福祉サービスを提供するように努める。
- (3) できる限り居宅に近い環境の中で、地域や家族との結びつきを重視した運営を行ない、市町村、指定障害者支援施設や障害福祉サービス事業を行なう者、その他の保健医療サービスまたは福祉サービスを提供する者との密接な連携に努める。
- (4) 「鳥取県障害者支援施設に関する条例」に定める内容のほか関係法令を遵守し、事業を実施する。

5. 利用者定員他

- (1) 施設入所定員 38名
現員 36名（男性 18名 女性 18名）
5月 男性利用者1名退所（死亡）
10月 男性利用者1名入所
3月 男性利用者1名入所
- (2) 生活介護定員 40名
現員 36名（男性 18名 女性 18名）
- (3) 平均年齢（施設入所）
58.9歳（男性 54.6歳 女性 63.1歳）
- (4) 平均障害支援区分 4.8

6. 職員組織

35名（所長、次長各1名、サービス管理責任者1名、栄養士1名、看護師3名、事務員3名、調理員5名、生活支援員20名（内、育児休1名）：兼務有）

7. 短期入所

空床型。今年度は14日（1名）の利用があった。

8. 日中一時

（1）定員 4名

（2）利用状況

今年度は3日（1名）の利用があった。

9. 支援の概要

（1）生活介護（日中の支援）

障害や年齢・適性・希望等を配慮しながら、加工班、きらく班の2つのグループの中で創作活動や生産的活動の機会を提供した。

日常生活に必要な訓練並びに情緒の安定と身の自立を図ることに重点を置いた支援等を行なった。また、外出や買物等、地域生活を意識した支援に努めた。

利用者の教養・娯楽については、自治会や施設主催の各種行事や喫茶等の余暇支援を通して行なった。

新型コロナウイルス感染予防のため、外出や行事等の機会を制限することもあったが、徐々に実施できる機会も増えた。出来ない時は施設内で会食をしたり、ボランティアによる踊り、カラオケやゲームなど提供した。

（2）施設入所支援（夜間、休日等の支援）

安心・安全な暮らしを送ることが出来るように、環境面では電気錠や介助用ベッドを設置した。また、支援体制や支援方法をその都度見直した。

（3）個別支援計画

利用者個々の状況を見極め、年に2回支援計画に対してモニタリングを実施し、必要に応じて見直しを行った。その都度保護者等に説明し、同意をいただいた。

（4）保健給食

ア 保健

利用者の障害の重度化・多様化、高齢化に対応するため、疾病予防、健康の維持・管理に努めた。また、総合健診をはじめ、各種検診等を実施し、疾病の早期発見・予防に努めた。

今年度も特に新型コロナウイルス感染症の流行に対して予防を徹底した。感染者は出ず、過ごすことができた。

イ 給食

栄養管理と利用者個々の身体状況に配慮した食事ーソフト食、ゼリー食、ミキサー食等を提供した。

(5) 衛生管理

毎日朝夕 2 回の清掃・消毒、定期的な大掃除等によって施設内外を清潔に保ち、利用者の入浴、清拭支援等、個々の利用者に応じた支援を行なった。

(6) 苦情解決・虐待防止

上記のための委員会にて、苦情解決・虐待防止の措置を講じ職員に周知した。また、関連する各種研修（オンラインを含む）等に積極的に参加した。

虐待の芽を早い段階で抑えるための取り組みを強化した。週に 1 回、職員倫理綱領の読み合わせ、また月に一回程度、セルフチェックを実施した。

(7) 施設設備

1 階から地階に降りる階段と踊り場に、車いす置き場を設置した。

2 階非常階段ドア、2 か所に電気錠を設置した。

1 階、106 号室の段差を解消し、フローリングにした。

指定障害者支援施設 若竹の家 事業報告

令和6年3月31日

1. 所在地 倉吉市みどり町3576番地1

2. 設置主体 社会福祉法人 希望の家

3. 設立経過

平成9年4月、更生施設「希望の家」から分離・独立し、授産施設「若竹の家」として定員30名で出発。平成17年10月のグループホーム立ち上げに伴い、「通所部」を併設。平成23年10月1日に「障害者自立支援法」（現在、障害者総合支援法）による新体系に移行し、障害者支援施設 若竹の家となる。

同じく平成23年10月1日に設立された障害福祉サービス事業所つつじ作業所（就労支援B型）を令和5年4月1日に若竹の家に編入。

4. 運営方針

- (1) 利用者に対して、その自立と社会経済活動への参加を促進する観点から、保護並びにその更生に必要な指導及び訓練を適切に行なう。
- (2) 利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、障害者自立支援法施行規則第22条第1項に規定する者に対して就労の機会を提供するとともに、通所により生産活動その他の活動の機会を提供する事を通じて知識及び能力の為に必要な訓練その他の便宜を適切かつ効果的に行うものとする。また一般就労に必要な知識や能力が高まった者は一般就労への移行に向けて支援をする。
- (3) 利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立って施設障害福祉サービス及び就労継続支援（B型）を提供するように努める。
- (4) できる限り居宅に近い環境の中で、地域やご家族との結びつきを重視した運営を行ない、市町村、指定障害者支援施設や障害福祉サービス事業を行なう者、その他の保健医療サービスまたは福祉サービスを提供する者との密接な連携に努める。
- (5) 「鳥取県障害者支援施設に関する条例」に定める内容のほか関係法令を遵守し、事業を実施する。

5. 利用者定員

- (1) 施設入所定員 26名
現員 24名（男性 18名 女性 6名）
4月 男性利用者1名退所
女性利用者1名退所（死亡）
9月 男性利用者1名入所
- (2) 生活介護定員 40名
現員 32名（男性 22名 女性 10名）

- (3) 就労継続支援（B型）定員 15名
現員 14名（男性 11名 女性 3名）
- (4) 平均年齢（施設入所）59.5歳（男性 59.4歳 女性 59.7歳）
- (5) 平均障害支援区分 4.13

6. 職員組織

28名（所長、次長、サービス管理責任者、栄養士各1名、看護師3名、事務員3名、調理員5名、生活支援員11名、職業指導員、工賃達成指導員各1名：兼務有）

7. 短期入所

- (1) 併設型（2名）及び空床型
- (2) 利用状況
3名（男性2名、女性1名）の利用で、延べ利用日数は153日でした。

8. 支援の概要

(1) 日中の支援

a. 生活介護

障害や年齢・適性・希望等を配慮しながら、農業班、ハッピー班、スマイル班、オアシス班の4つの活動班の中で生産活動や創作的活動の機会を提供した。また、近隣の神社清掃を年数回実施し地域への奉仕活動も行なった。

b. 就労支援

今年度の作業種及び内容については、前年度までの施設外就労（ワークスクラよし）を取り止め施設内作業のみとし、石田紙器（株）の紙箱折り、（有）ドアーズのペットフードのカット作業、（株）トンボ倉吉工房の封入作業、（有）サンパックのタグ通し、シール貼り作業、施設利用者の洗濯物配布等を中心として取り組んだ。

今年度の就労支援事業収益は約3,005,000円で、前年比75%（前年3,993,000円）となり、利用者へ支払う平均工賃月額額は約21,000円（前年29,800円）でした。

(2) 施設入所支援（夜間、休日の支援）

日常生活に必要な訓練並びに情緒の安定と身の自立を図ることに重点を置いた支援を行った。また、社会性の拡大・余暇活動等の取組みも実施した。

(3) 個別支援計画

利用者個々の状況を見極め、年に2回支援計画に対してモニタリングを実施し、必要に応じて見直しを行った。その都度保護者等に説明し、同意を頂いた。

(4) 保健給食

ア 保健

利用者の障害の重度化・多様化、高齢化に対応するため、疾病予防、健康の維持・管理に努めた。

新型コロナウイルスやインフルエンザ等の感染症予防対策を徹底して取り組んだ。

イ 給食

栄養と利用者個々の身体状況に配慮した食事や、ソフト食、ゼリー食、糖尿病食等の介護食、単位食を必要に応じ提供した。

(5) 衛生管理

毎日朝夕2回の清掃・消毒、定期的な大掃除等によって施設内外を清潔に保ち、利用者の入浴支援も毎日行なった。

(6) 苦情解決・虐待防止

委員会を設置し、苦情解決・虐待防止の措置を講じ職員に周知した。また、関連する各種研修等に積極的に参加した。

3月、生活介護利用者(通所)家族から、職員の対応についての苦情あり対応する。

共同生活援助事業所 グループホーム希望の家 事業報告

令和6年3月31日現在

1. 設置主体 社会福祉法人 希望の家

2. 各グループホームの名称及び所在地

- (1) グループホーム たきがわ
住所 倉吉市関金町関金宿 1448 - 8
開設日 平成21年4月7日
- (2) グループホーム せきがね
住所 倉吉市関金町関金宿 1448 - 8
開設日 平成21年4月7日
- (3) グループホーム みどり
住所 倉吉市みどり町 3184 - 2
開設日 平成31年4月1日

3. 設立経過

平成17年10月に地域生活援助事業所グループホームみどり（男性4名）として開設。平成18年10月にグループホームいわき（女性2名）も開設（平成21年3月まで）し、共同生活援助事業所グループホーム希望の家として事業運営。平成21年4月たきがわ、せきがね両ホームの新規開設に伴い、一体型共同生活援助事業所 グループホーム希望の家とする。平成26年4月法改正に伴い、グループホーム希望の家に名称変更する。

グループホームみどりについては、平成28年10月21日の鳥取県中部地震により被災した為、事業を廃止したが、平成31年4月住所を移し新規に事業を開始した。

4. 運営方針

- (1) 利用者が自立を目指し、地域において共同して日常生活を営むことができるよう、利用者の心身その他の状況及びその置かれている環境に応じて、共同生活住居において食事の提供、相談その他日常生活上の援助を適切に行なう。
- (2) 事業の実施にあたっては、関係市町村、地域の保健・医療・福祉サービス機関と連携を図り、総合的なサービスの提供に努める。

5. 利用定員他

- (1) グループホーム たきがわ 6名（男性） 現員6名
- (2) グループホーム せきがね 6名（男性） 現員6名
- (3) グループホーム みどり 5名（女性） 現員5名
- (4) 平均年齢 62.6歳（男性 63.2歳 女性 61.2歳）
- (5) 平均支援区分 3.29

6. 職員配置及び支援体制

- (1) 職員数 17名（所長、次長、サービス管理責任者2名、看護師2名、生活支援員3名、生活支援員兼世話人6名、夜間世話人4名：兼務有）
- (2) 支援体制 世話人6名で、3ホームをローテーションして勤務し、「たきがわ・せきがね」に2名、「みどり」に2名夜間世話人を配置。

7. 短期入所

- (1) GH みどり 併設型（1名）
- (2) 利用状況 1名（延べ15日）

8. 利用体験支援事業

- (1) 皆成学園実施事業に協力。みどりを利用し実施する。
- (2) 利用状況 2名（延べ5日）

9. 支援の概要

新型コロナウイルス感染予防の対策を講じながら、支援や取り組みを行った。

- (1) 利用者が、安心して楽しく生活できる支援、環境を整える。
 - ア 世話人と連携を図りながら、個別のケースに対応する。
 - イ 世話人との連絡会を定期的に関き、利用者の理解を深め支援の質の向上を図る。
 - ウ 世話人研修（県主催）への参加。
 - エ 休日支援で買物等に対応。
 - オ 避難訓練、消防点検等、防災に関する取り組みを実施。
- (2) 地域住民、自治会等への理解と協力を求め、連携して支援できる体制を構築する。
 - ◎みどり町のとんどさんに参加
- (3) 利用者の健康、精神面の状態を把握し、それぞれの事業所と連携を図りながら対応する。
 - ① 若竹の家（生活介護）利用 5名
 - ② つつじ班（就労系）利用 11名
 - ③ 他事業所就労 1名
 - ◎新型コロナウイルス感染予防のため、訪問看護は実施せず
 - ◎新型コロナウイルス及び感染性胃腸炎の罹患者なし。インフルエンザ1名感染。
- (4) 土砂災害警戒区域指定による避難確保および対応を図る。
 - ◎大雨による臨時防災会議2回（8/15、9/6）→施設への避難はせず
- (5) 個別支援計画
利用者個々の状況を見極め、年に2回支援計画に対してモニタリングを実施し、必要に応じて見直しを行った。その都度本人、保護者等に説明し、同意を頂いた。

(6) 苦情解決・虐待防止

委員会を設置し、苦情解決・虐待防止の措置を講じ職員に周知した。関連する各種研修に積極的に参加した。

苦情解決

- 10月 GH利用者の保護者から、支援に関する苦情を受ける。
第三者委員への報告を希望されたため、苦情解決委員会を開き、苦情内容の説明、それに対する検討内容及び改善策を報告し助言を受ける。申出のあった保護者にも改善策を報告する。
- 11月 GHの利用者から、世話人の注意の仕方についての苦情を受ける。
当該世話人に苦情があったことを伝え、今後の対応に気を付けてもらうように話す。申出のあった利用者にも当該世話人の意図を伝えた。

虐待防止

- 1月、世話人による利用者への心理的虐待が疑われ通報する。その後各市町の聞き取りが行われ、4件（1市3町）の虐待認定を受けた。
一連の対応として、虐待防止委員会を2回、世話人連絡会を3回開催した。特に世話人連絡会においては、虐待防止の基本や、服務規律、通報義務等について再度確認し周知を図った。
- 2月、この件で県による監査が実施される。3月にはその結果が通知され、指摘事項に基づき改善報告書を作成する。

(7) 施設設備

- 8月 GH たきがわの雨どいの改修

令和5年度年間行事等実施状況

	行事		理事会・研修会		防災		健診・安全衛生		その他	
	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容
4月	4	辞令交付 / 永年勤続者表彰	20	県知福協代議員会			4	コロナ対策会議		
			23	倉吉市手をつなぐ育成会総会			18	衛生委員会		
	10	新年度体制	25	GH 世話人連絡会						
	14	若竹の家 職員会	27	中国地区知的障害関係施設長会議（～28日）						
5月			16	理事会	24	消防設備立入検査（30日 GH）	2	コロナ対策会議	21	福祉の就職フェア
				メンタルヘルス研修会（オンライン）	29	消防設備点検（～30日）	24	衛生委員会	29	鳥取短大実習
			18	税理士監査			24	コロナ対策会議		（2名 ～6/10）
			22	法人内部監査	31	避難訓練				
			23	社会就労センター定期総会						
6月	21	（若）ダイキキャンプ①	2	理事会			13	コロナワクチン接種①	19	倉吉養護学校実習（1名 ～23日）
	28	（若）ダイキキャンプ②	7	県手をつなぐ育成会総会						
	30	（若）つつじ班ダイキキャンプ	13	社会福祉施設経営法人連絡会			20	コロナワクチン接種②	30	倉吉養護学校実習
			16	社会福祉施設 BCP 策定研修			26	衛生委員会		
			20	定時評議員会						
			23	理事会						
7月	1	県親善球技大会	7	県知福協施設長会			24	衛生委員会		
			14	中部圏圏域障がい者地域自立支			27	コロナ対策会議		

	行事		理事会・研修会		防災		健診・安全衛生		その他	
			20	援協議会全体会 (オンライン) 中四国知的障害関係職員研究 協議会 (岡山市 ~21日)				歯科検診		
			24	てんかん講座 (オンライン)						
			26	キャリアアパス対応生涯研修 (初任者コース ~27日)						
8月	25	(希望) 前期慰労会	7	全国知的障害関係施設長会議 (オンライン配信)	15	大雨防災会議	21	衛生委員会 (書面)	7	後援会総会 (書面)
			8	GH 世話人連絡会 キャリアアパス対応生涯研修 (中堅職員コース ~9日)						
			9	安全運転管理者等法定講習						
			25	障害分野別基礎研修 (オンライン)						
			27	部落解放研究倉吉市集会						
9月	5	(希望) 日帰り旅行①	7	キャリアアパス対応生涯研修 (チームリーダーコース ~8日)	6	大雨防災会議	14	コロナ対策会議		
	13	(希望) 日帰り旅行②					25	衛生委員会		
	15	若竹の家 職員会					29	総合健診		
	21	希望の家 職員会	11	強度行動障がい支援者養成基 礎研修 (オンライン ~12日)						
	24	球技大会中国大会 (山口 県)	15	福祉サービス苦情解決事業研 修会 (オンライン)						
	28	(若) 日帰り旅行①								

	行事		理事会・研修会		防災		健診・安全衛生		その他	
	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容
10月	1	創立記念日	19	社会福祉法人会計実務研修会 (オンライン)	18	消防設備点検 (～19日)	14	コロナ対策会議	12	八幡神社清掃
	4	(若)スマイル班 慰労会	24	虐待防止等研修 (オンライン)	30	避難訓練 (火災)	23	衛生委員会	18	福祉体験 (2名 倉吉西中)
	10	(若)つつじ班慰労会							23	倉吉養護学校実習 (～24日)
	11	(若)オアシス班慰労会							30	倉吉養護学校実習 (～31日)
	17	(若)ハッピー班慰労会								
	19	(若)1泊旅行①								
	24	(若)1泊旅行②								
	25	(希望)旅行代替行事								
	28	手をつなぐスポーツ祭り (中部大会)								
	30	(希望)旅行代替行事								
11月	11	きぼうまつり	6	社会福祉施設 BCP 策定支援研 修	24	中国電気保安協 会点検	14	コロナワクチン接種	2	公益的取組
	18	(若)日帰り旅行①		年金委員研修 (オンライン)			17	腰痛予防体操講習会	14	倉吉養護学校実習 (中学生 ～15日)
	25	(若)日帰り旅行②	14	メンタルヘルス研修 後期 (オンライン)			20	衛生委員会	17	福吉解放文化祭
			15	キャリアパス対応生涯研修 (管 理職員コース)			21	コロナワクチン接種	24	GH 体験事業 (～26日)
			22	年金委員研修会 (オンライン)			29	コロナ対策会議		
			27	ハラスメメント防止等セミナー						

	行事		理事会・研修会		防災		健診・安全衛生		その他	
	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容
12月	13	(若)忘年会	5	社会福祉法人会計実務研修会 (オンライン)	28		28	コロナ対策会議	6	GH 第三者評価訪 問調査
	19	(若) つつじ班クリスマス会	6	理事会	30	県知協職員研修会 GH 世話人研修①(オンライン) 人事・組織管理研修 (オンライン)	12	インフルエンザ予防 接種①	8	中部あいサポート フェスタ(～10日)
	20	(若) クリスマス会	7	中国地区障害者支援施設部会 職員研修会 (松江市)			15	腰痛予防体操講習会	13	米の贈呈式 (倉吉 信用金庫)
	25	(希望) クリスマス会	8	ICT 導入モデル事業じぜん 施設職員交流実践研修会			18	衛生委員会	26	施設体験事業 (～27日)
	27	もちつき	12	施設職員交流実践研修会 評議員会			19	インフルエンザ予防 接種②		とっとり企業紹介 フェア
	28	仕事納め	14	評議員会						
			18	要介助高齢知的障がい者支援 研修会 (オンライン)						
			21	倉吉市社会福祉大会						
1月	4	仕事始め	10	GH 世話人研修②(オンライン)			9	婦人科検診	5	GH みどり短期利 用 (～6日)
	11	(希望) 新年会	15	障害福祉サービス従業者研修 (～16日 オンライン) 言語聴覚士による講習 権利擁護セミナー			23	胃がん・大腸がん検 診 (利用者)	14	みどり町とんど
			17	言語聴覚士による講習				夜勤者総合健診	26	倉吉市部落解放文 化祭 (未来中心 ～ 28日)
			18	権利擁護セミナー			29	衛生委員会		
			20	発達障がい普及啓発研修会						
			22	全国的障害福祉関係職員研						

	行 事		理事会・研修会		防 災		健診・安全衛生		その他	
			26	究大会（オンデマンド配信） 強度行動障がい支援者養成研 修実践報告会（オンライン） 虐待防止委員会						
			29	食生活分科会研修会（オンライ ン） 障害者就労事業振興センター 総会（オンライン）						
2月	14	若竹の家 職員会	7	GH 世話人連絡会	27	避難訓練（地震）	19	衛生委員会		
	21	希望の家 職員会	9	社会福祉法人等意見交換会						
	28	イベント会食	14	都道府県経営協セミナー						
			19	社会福祉法人労務管理研修会 （オンライン）						
			20	知福協保健分科会（オンライ ン）						
			22	虐待に係る監査						
			27	保育実習連絡協議会						
			28	虐待防止委員会						
3月	1	若竹の家職員会	1	知福協施設長会 / 理事会	21	GH みどり避難 訓練	2	コロナ対策会議 衛生委員会	17	福祉の就職フェア
	13	各事業所代表者会	6	理事会			27			
	14	希望の家年度末慰労会 若竹の家年度末慰労会	8	中部圏域障害者自立支援協議 会	25	GH たきがわ・せ きがね避難訓練				

行	事	理事会・研修会	防 災		健診・安全衛生		その他	
			27	緊急連絡網訓練				
12		GH 世話人連絡会						
18		理事会						
22		社会福祉法人役職員研修会 (オンライン)						
26		GH 世話人連絡会						
27		第三者委員との連絡会 評議員会						